

# 「リニア&いいだの広域まちづくりを考える」プロジェクト

## 平成30年度 事業報告

部会長 中島 一夫

本年の事業として、下記の通り計画致しました。

- ① リニア駅からの2次交通の研究、中心市街地の機能の検討、魅力的な中心市街地創造へのリニア駅の活用方法についての研究
- ② リニアとまちづくりに資する勉強会の開催
- ③ まちづくり先進地の視察

リニア飯田駅(上郷)周辺の基本計画が、具体化されつつある中で、駅前大型商業施設の撤退、公共施設の老朽化および建替、そしてリニア駅からの交通ネットワークの整備(JR飯田線含)等、喫緊の問題として、中心市街地の課題が浮上しました。

このような状況下で、拠点ネットワークの中核として位置付けられる中心市街地(通称丘のまち)の現状を鑑み、リニア開通に向けてのリニア駅周辺の構想と両輪をなすべき中心市街地に具体的な構想や将来像のないことに問題意識が高まりました。

長年、中心市街地に関する検討研究は、行政、自治会、各種団体等から多くの提言がなされてきました。当フォーラムからも2018年に「リング並木を育む美しいころのまち丘の上」と題して提案した経過もあります。しかし、地域で共有する考えにまとまったものは、まだありません。前述した通り、駅前から大型商業施設の撤退と公共施設の老朽化建替の時期とが重複し、中心市街地の将来に対する不安が増幅することになりました。

折しも広域連合からリニア時代に向けた新施設の整備に関する基本的考え方へのパブリックコメントを提出することを機会に中心市街地を考えることを住民主導で考えよう、今までの提言も含め住民全体で共有できる将来像を検討したい、という機運の盛り上がり、危機感により、急遽事業の中心を

- ① 「中心市街地を考える会」の設立
- ② 研究検討
- ③ 構想まとめ公表

という手順にて、「中心市街地」を考える事業を実施するにいたりました。

「中心市街地を考える会」の設立から事業経過、構想等詳細は、次の通りです。